

輸出事業計画

※申請者名：株式会社ふじ屋、品目：菓子（プリン）

1. 輸出における現状と課題

【現状】

○株式会社ふじ屋は、これまで全国でもトップクラスの生産量を誇る茨城県産鶏卵の「奥久慈卵」を活用した「プリン」の普及を行ってきた。中長期的な視点で見ると、国内市場は人口の縮小に伴う需要の縮小が見込まれることから、今後の成長が見込まれる海外市場を新たなターゲットとして、茨城県産鶏卵を活用した「プリン」を本格的に海外においても展開することとした。

○2019年からアメリカ合衆国を中心として、プリンを試験販売輸出に着手し一定の手ごたえを得た。今後は本格的にアメリカ合衆国向けの輸出を拡大させるとともに、地域農業者への貢献及び自社の経営発展を図っていく。

【課題】

- 輸出国の基準等に対応した生産体制を構築する必要がある。
- 商談や海外での販売に際して、競争力を高めるためにFSSC22000の認証取得が必要となる。
- 弊社のスタッフが現地へ行かずとも行えるプロモーション戦略の検討及び効果的な商談体制の構築。
- アメリカ合衆国における消費者ニーズを的確にとらえ、それに対応した新商品開発及び既存商品の改良。

2. 輸出事業計画の取組内容

計画策定

- 輸出事業計画の策定
- 海外市場調査（既輸出国の消費動向及び消費者・バイヤーのニーズ調査）

生産・加工等の体制構築

- FSSC22000取得に向けた研修等の実施
【輸出に対応した生産体制の構築】
- FSSC22000対応工場への増改築
・衛生基準等のクリア
- FSSC22000対応生産設備の導入
・非接触型、自動化設備等の検討・導入・実施テスト
- 現地に訴求しやすい包材、官能評価を反映した商品開発及び改良の実施

産地計画の事業効果の検証・改善

PDCAサイクルを活用し事業効果の検証を行うとともに、より効率的に事業を実施する。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



- 自社：輸出に向けた製品開発（ブラッシュアップ含む）・管理・販売
- 生産者：高品質の鶏卵の安定的な出荷
- 茨城県：各種施策による支援等の実施
- FSSC22000支援事業者：FSSC22000の取得・継続支援
- 輸出入事業者：米国における販路開拓及び販売支援
- いばらき中小企業グローバル推進機構：製品開発・流通支援

定期的に関係者会議を開催し、各機関の視点から、更なる輸出拡大に向けて協議を行う

4. 輸出目標額

これまでの輸出売上、およびこの取り組み後の売上目標は右表の通りである。

既存代理店ネットワークや関係機関のサポートを受けながら輸出拡大を図っていく。

	プリン	現状（令和3年）	目標年（令和9年）
輸出額（千円）		640	12,000
輸出量（トン）		0.0503	1.714
輸出先国		アメリカ	アメリカ